

47

加法

年 組 番 名前

● 例 題 ●

次の計算をなさい。

● 同じ符号の2つの数の和

$$\begin{aligned} (1) \quad & (+5) + (+4) \\ & = +(5+4) \\ & = \underline{\underline{+9}} \end{aligned}$$

同符号の2数の和は、2数の絶対値の和に2数の共通の符号をつける

$$\begin{aligned} (2) \quad & (-7) + (-6) \\ & = -(7+6) \\ & = \underline{\underline{-13}} \end{aligned}$$

● 異なる符号の2つの数の和

$$\begin{aligned} (3) \quad & (+6) + (-8) \\ & = -(8-6) \\ & = \underline{\underline{-2}} \end{aligned}$$

異符号の2数の和は、2数の絶対値の大きい方から小さい方をひいた差に、絶対値の大きい方の符号をつける

$$\begin{aligned} (4) \quad & (-4) + (+9) \\ & = +(9-4) \\ & = \underline{\underline{+5}} \end{aligned}$$

● 同じ符号の2つの数の和

問1 次の計算をなさい。

(1) $(+2) + (+3)$

(2) $(+4) + (+6)$

(3) $(-3) + (-5)$

(4) $(-4) + (-8)$

● 異なる符号の2つの数の和

問2 次の計算をなさい。

(1) $(+4) + (-9)$

(2) $(-6) + (+2)$

(3) $(-6) + (+8)$

(4) $(+7) + (-4)$

● 問1と問2のMIXしたタイプ

問3 次の計算をなさい。

(1) $(+1) + (+5)$

(2) $(-5) + (+2)$

(3) $(-4) + (-9)$

(4) $(+7) + (-2)$

(5) $(-8) + (-9)$

(6) $(-7) + (+7)$